

よりよい藤城教育のために ～令和2年度 後期学校評価～

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。今年度も残り少なくなり、子ども達は卒業・進級に向けて、1年間のまとめを頑張っています。

さて、12月には教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。後期学校評価ではアンケートの結果とともに1年間の教育活動について振り返り、分析・考察を行いました。

本紙面では、評価項目からいくつか取り上げ、前期との比較を含めた今年度の取組についての分析・考察、また今後の課題や改善点について報告いたします。

裏面には保護者アンケートの結果と自由記述欄のご意見を一部抜粋して掲載しております。この後期評価を来年度のよりよい藤城教育へとつなげてまいります。



確かな学力

今年度は研究主題を『互いに学び合う協同的な学習を基にした生きる力の育成』、サブテーマを「協働学習を通して、主体的・対話的に深く学び合う集団を目指して」として取り組んできました。タブレット端末は個人で課題解決するのに有効というイメージがあるかと思いますが、本校ではタブレット端末と思考ツールを協働学習（話し合い活動）に有効活用して学習を深めていくことを目標としています。

その成果として、児童アンケートの「勉強はよくわかりますか」の項目では昨年度後期より評価が上がり9割以上の児童が「勉強がわかる」と回答しています。

また、協働学習の指標である「友だちと協力したり話し合ったりして学習することは好きですか」の項目では、9割の児童が好きと回答しています。研究の成果が出ているのではないかと感じています。



以前より、児童アンケートの「読書タイム以外で読書をしている」「家の人といっしょに本を読んだり、図書館に行ったりする」、保護者アンケートの「読書の習慣をつけている」の数値があまり高くないことが気になっていましたが、今年度は研究教科を国語に絞り、教材と合わせて読書を進めていく並行読書に力を入れてきた結果、「読書タイム以外で読書をしている」が前期より5パーセント改善が見られました。また、読んだ本のことや学習したことを他学年に伝える「かめのこタイム」にも取り組み、話す・聞く能力の向上も目指してきました。家庭でも、読書に親しんだり、話を合ったりする環境を作っていただけたらありがたいです。

豊かな心

本校では、人権教育や道徳教育、たてわりグループでの活動など日々の教育活動を通して豊かな心を育むように取り組んできました。今年度は「ハートフルウィーク」を月に1回設け、人権について考える時間をもち、全校の取り組みを人権掲示板にて交流しました。始業式や終業式、毎日の学校長からの掲示板を使ったメッセージからも、子どもたちは、人権について考える機会を得ています。

後期の児童アンケートでは「相手の気持ちを考えて行動する」「人が困っていたら助けてあげる」「学校のきまりをまもっている」の項目では約9割の児童ができると回答し、前期よりも評価が上がっていました。共によりよく生きるためには、すべての子どもが相手のよさを見付けようと努め、互いに協力し合い、共通して守るべきものはしっかりと身に付けていくことが大切です。

家庭・地域と協働して取り組み、子ども達を育てていきたいと思

健やかな体

「早寝・早起き・朝ご飯」はとても大切な要素であり、子ども達の健やかな体を育むためには欠かすことのできないものです。

後期アンケートの結果、朝食を食べる習慣は、とてもよく定着しています(94%)。しかし、起床時刻と就寝時刻は前期から比べて遅くなっています。睡眠は前日の疲れを取り、次の日の活力を生み出すものです。しっかりと睡眠がとれていることが、前述の「確かな学力」「豊かな心」を育むはじめの一歩と考えます。

この機会にぜひ生活リズムを見直して、改善できるところがあれば、少しずつでも取り組んでいただければありがたいです。



4・5月の休校期間に衰えた体力を戻すために、今年度は積極的にクラス遊びを取り入れたり、体育でも体ほぐしなど多種多様な運動に取り組むようにした結果、子どもたちの体力は改善方向にあります。来年度も引き続き取り組みを進めていきたいと考えております。

地域のなかで育つ子ども

今年度は学校教育目標「思いやりの心をもって、生き生きと活動する子」の実現に向けて、「つなぐ」を実感できる学校を目標としてきました。藤城小学校では情報活用の実践力を向上させるために、生活科・総合的な学習の時間を中心にしたプロジェクト型学習（児童の主体的な問題解決型学習）を進めています。今年度は新型コロナウイルス予防対策として、すべての取り組みが中止されたり、教職員からの話や、伝承となったりしてしまいました。例年でしたら、その各学年のプロジェクト学習のカリキュラムに沿って学習ボランティアやゲストティーチャーを地域から派遣していただき「昔のあそび」「収穫祭」「防犯や防災のお話」「仕事についての話」など様々な学習で支援していただいていた。また、「藤城夏まつり」



「学区民体育祭」「オータムフェスタ」「総合防災訓練」「もちつき大会」に子ども達がスタッフとして参加し、地域・保護者の方と一緒に訓練を受けたり、がんばったりする姿が見られました。

そんな何かでも、形を工夫して「学校運営協議会」を開催し、来年度以降の新しい形をさぐり、子どもたちのため、学校のためにより良い方向を考えていただき、改めて、地域の方々のありがたさや、熱い思いを感じました。今後も、生活科・総合的な学習の時間などとリンクし、地域に見守られるだけでなく、子ども達自身から地域に関わり、藤城の次代を担う子どもたちを育てていく取組をさらに進めていきたいと思